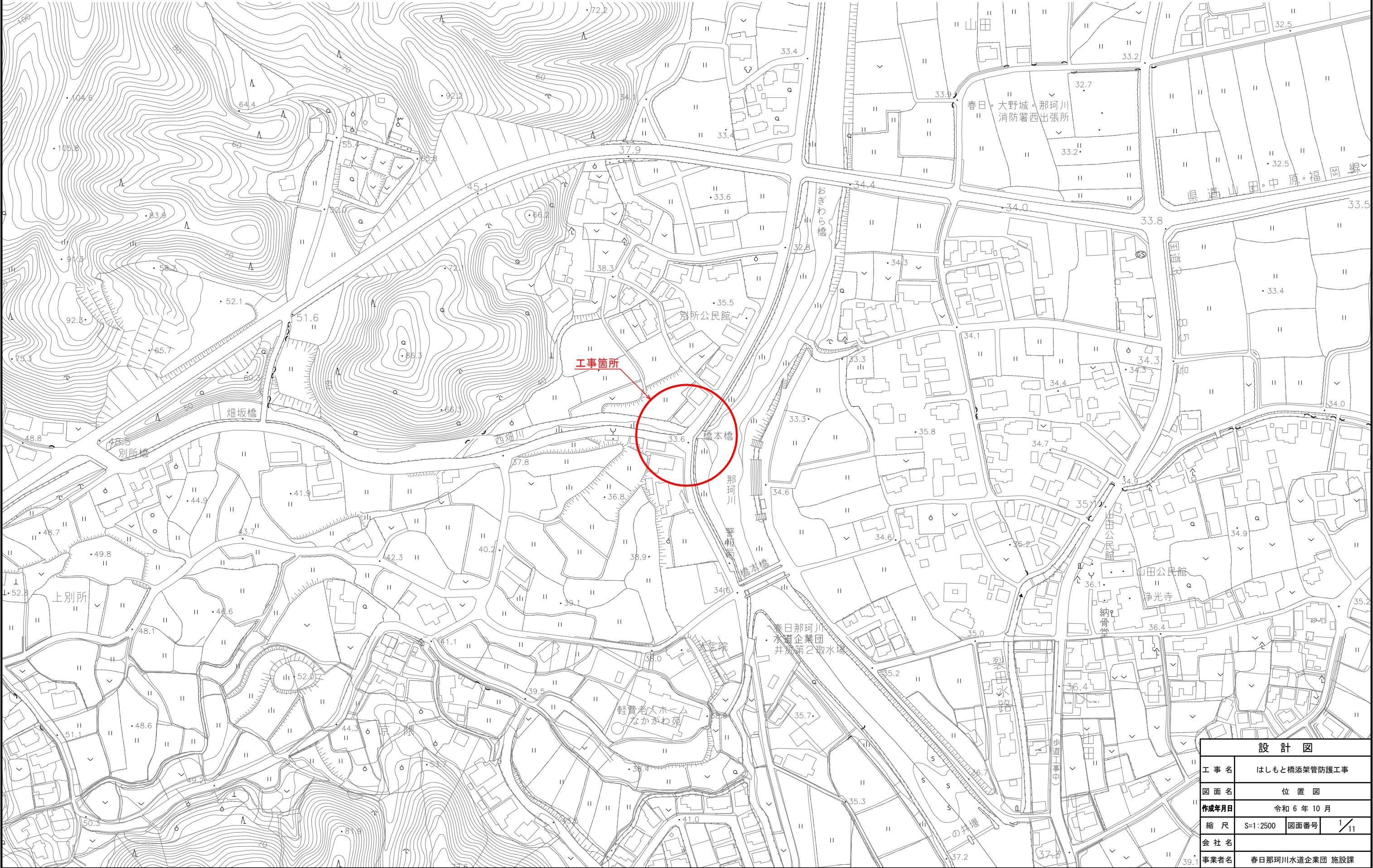


位置図 S=1:2500



設計図	
工事名	はしもと橋添架管防護工事
図面名	位置図
作成年月日	令和6年10月
縮尺	S=1:2500 図面番号 1/11
会社名	
事業者名	春日那珂川水道企業団 施設課

[illegible]

Figure 1 is a technical drawing of a rectangular tank. The overall dimensions are 1,200 mm in width and 700 mm in height. The width is divided into two 600 mm sections. The height is divided into two 350 mm sections. The tank is constructed from stainless steel plate (SUS304) with a thickness of 3.0 mm. The top plate is 600 mm wide and 700 mm high. The side plates are 600 mm wide and 350 mm high. The bottom plate is 600 mm wide and 350 mm high. The tank is supported by a base plate (FB-130 x t6 SUS304) and a side plate (FB-65 x t6 SUS304). The tank is filled with water, and the water level is indicated by a dashed line. The drawing also shows the location of the water inlet and outlet pipes, which are 300 mm and 200 mm in diameter respectively. The drawing is labeled with dimensions and material specifications in Japanese.

1,200

600 600

ステンレス鋼板
W=600, t=3.0
SUS304, 艶消し

後施工アンカー
アンカーボルト M16×175L
SUS304
ケミカルアンカー充填

SUS304

L-65×65×t6
SUS304

ステンレス鋼板
W=700, t=3.0
SUS304, 艶消し

▽34.97

BOX頂版

700

200 300 200

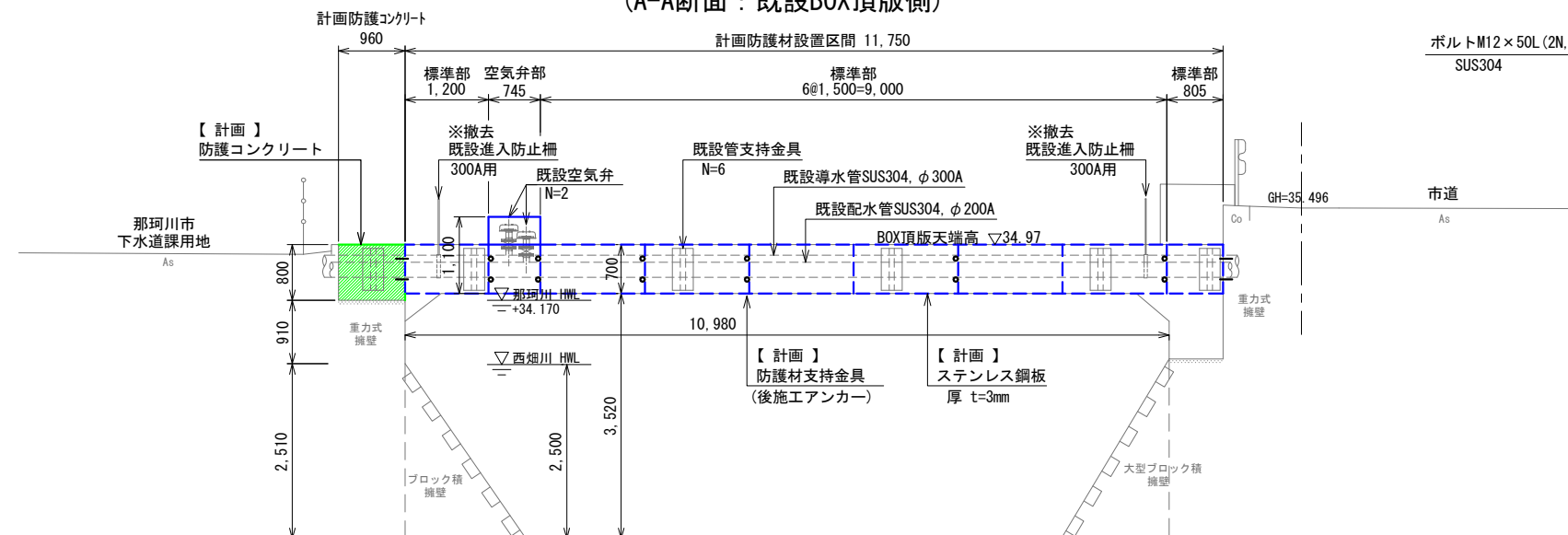
導水管
φ300

配水管
φ200

ボルト M12×50L (2N, 2W)
SUS304

ステンレス鋼板
W=600, t=3.0
SUS304, 艶消し

(A-A断面：既設BOX頂版側)



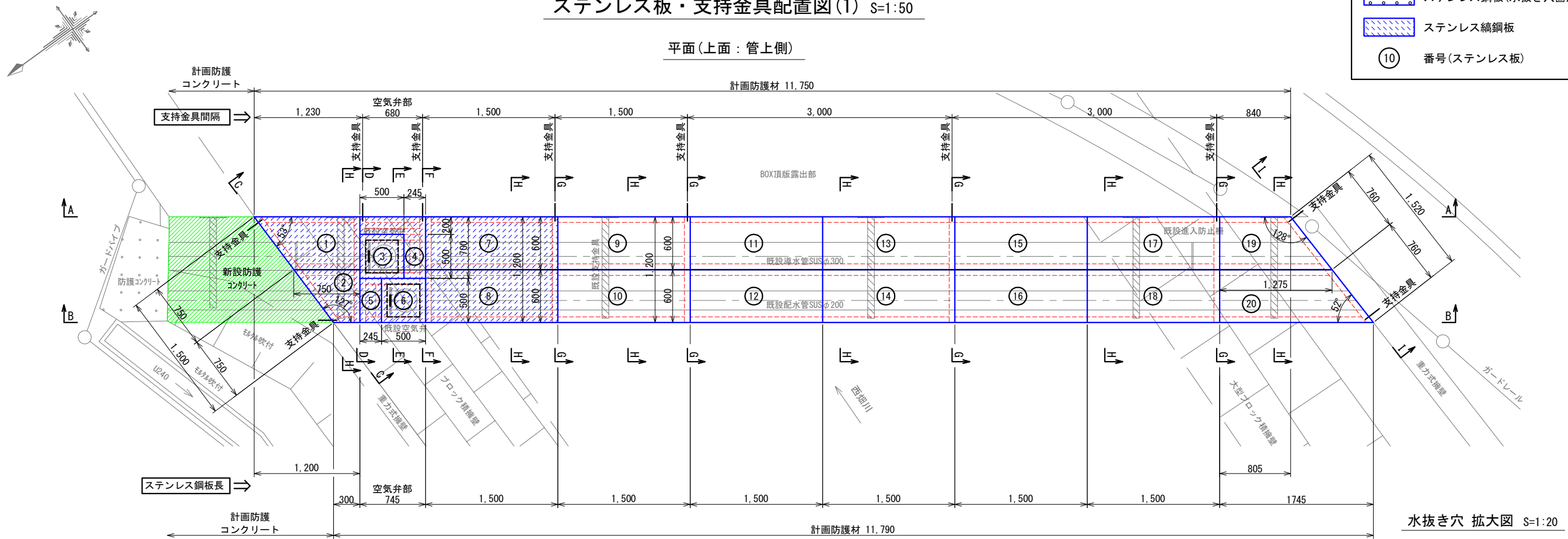
DL=30.00

設 計 図			
工 事 名	はしもと橋添架管防護工事		
図 面 名	平面図・側面図・標準断面図		
作成年月日	令和 6 年 10 月		
縮 尺	図 示	図面番号	2 / 11
会 社 名			
事業者名	春日那珂川水道企業団 施設課		

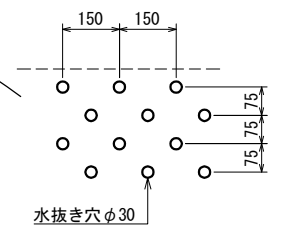
防護材構造図(1)

ステンレス板・支持金具配置図(1) S=1:50

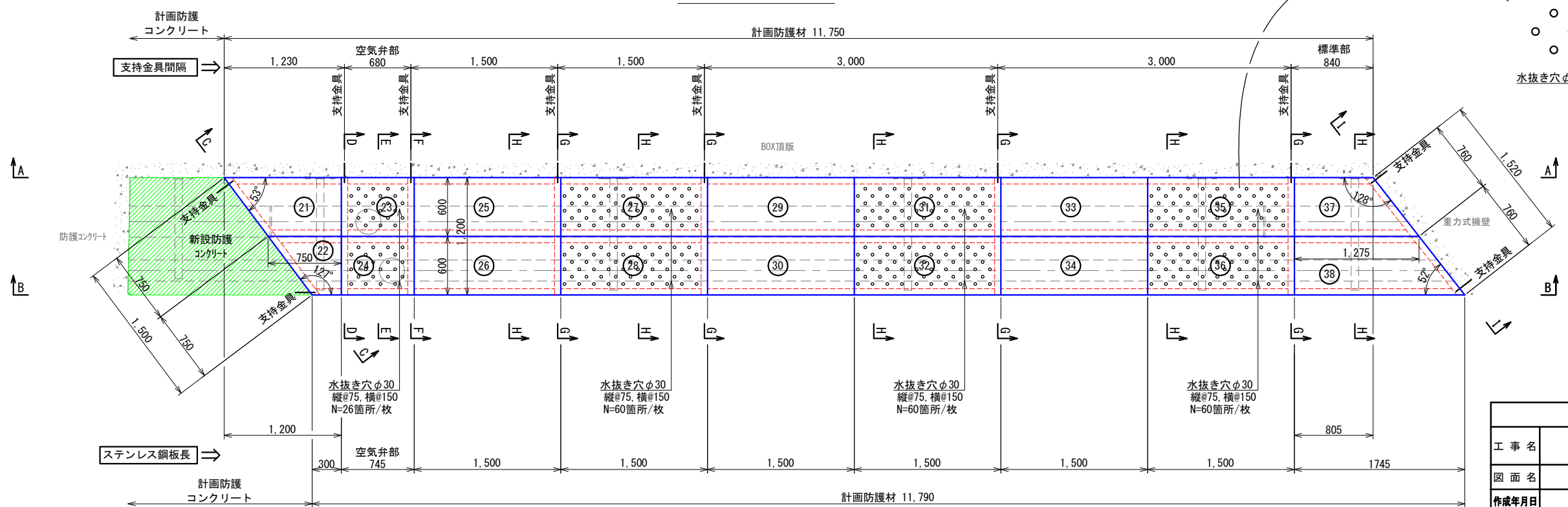
平面(上面:管上側)



水抜き穴 拡大図 S=1:20



平面(下面:管下側)



設 計 図			
工 事 名	はしもと橋添架管防護工事		
図 面 名	防護材構造図(1)		
作成年月日	令和 6 年 10 月		
縮 尺	S=1:50	図面番号	3 / 11
会 社 名			
事業者名	春日那珂川水道企業団 施設課		

防護材構造図(2)

ステンレス板・支持金具配置図(2) S=1:50

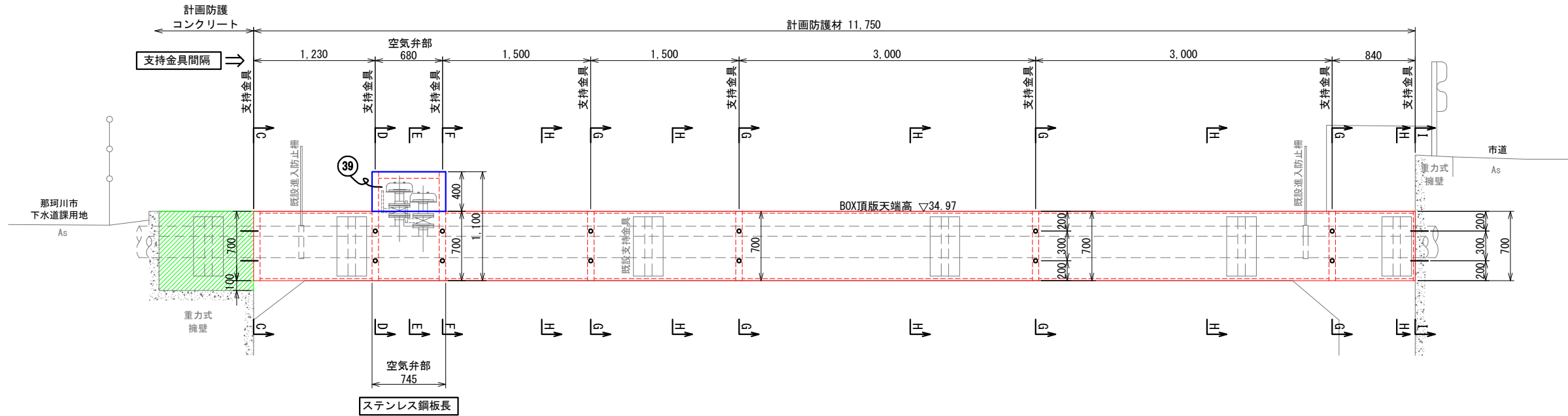
凡 例

ステンレス鋼板

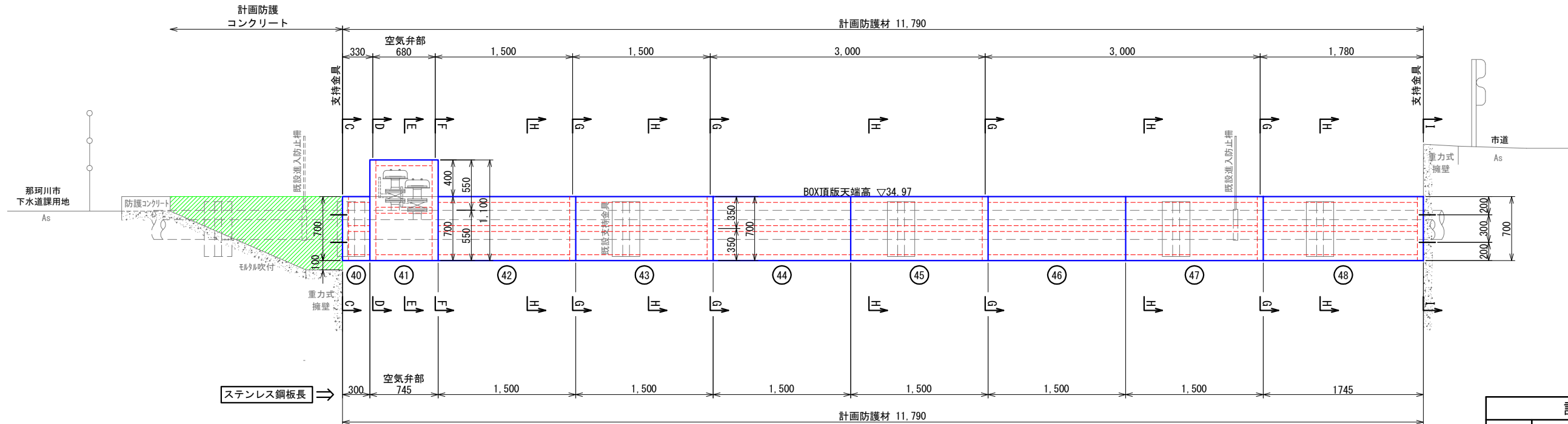
ステンレス鋼板(水抜き穴箇所)

ステンレス縞鋼板

A - A 断面



B - B 断面



設 計 図			
工 事 名	はしもと橋添架管防護工事		
図 面 名	防護材構造図(2)		
作成年月日	令和 6 年 10 月		
縮 尺	S=1:50	図面番号	4 / 11
会 社 名			
事業者名	春日那珂川水道企業団 施設課		

防護材構造図(3)

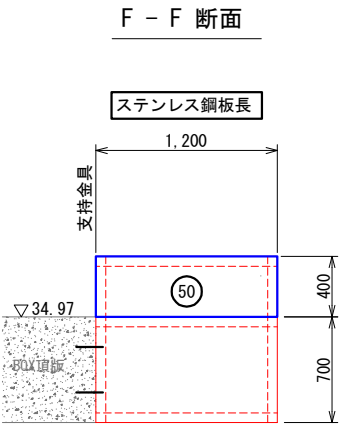
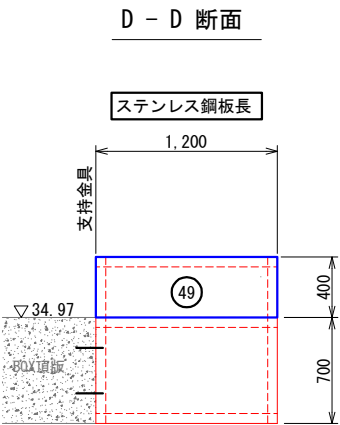
ステンレス板・支持金具配置図(3) S=1:50

凡 例

ステンレス鋼板

ステンレス鋼板(水抜き穴箇所)

ステンレス縞鋼板



ステンレス板数量表

記 号	1枚当り寸法、面積			枚 数	単位重量 (kg/m2)	1枚当り重量 (kg)	面 積 (m2)	重 量 (kg)	備 考
	幅(mm)	長さ(mm)	面積(m2)						
【 ステンレス縞鋼板 (SUS304, 艶消し) t=3.0mm 】									
1	600	長辺 1,200 短辺 750	0.720	1	25.700	18.504	0.720	18.504	斜切
2	600	長辺 750 短辺 300	0.450	1	25.700	11.565	0.450	11.565	斜切
3, 6	500	500	0.250	2	25.700	6.425	0.500	12.850	空気弁管理蓋兼用
4	200	745	0.272	1	25.700	6.990	0.272	6.990	
	500	245							
5	500	245	0.123	1	25.700	3.161	0.123	3.161	
7, 8	600	1,500	0.900	2	25.700	23.130	1.800	46.260	
合計				8			3.865	99.330	
【 ステンレス鋼板 (SUS304) 】									
9~18 25, 26, 29 30, 33, 34	600	1,500	0.900	16	23.800	21.420	14.400	342.720	
19, 37	600	長辺 1,275 短辺 805	0.765	2	23.800	18.207	1.530	36.414	斜切
20, 38	600	長辺 1,745 短辺 1,275	1.047	2	23.800	24.919	2.094	49.838	斜切
21	600	長辺 1,200 短辺 750	0.720	1	23.800	17.136	0.720	17.136	斜切
22	600	長辺 750 短辺 300	0.450	1	23.800	10.710	0.450	10.710	斜切
23, 24	600	745	0.447	2	23.800	10.639	0.894	21.278	水抜き穴箇所
27, 28, 31 32, 35, 36	600	1,500	0.900	6	23.800	21.420	5.400	128.520	水抜き穴箇所
39	400	745	0.298	1	23.800	7.092	0.298	7.092	
40	700	300	0.210	1	23.800	4.998	0.210	4.998	
41	1,100	745	0.820	1	23.800	19.516	0.820	19.516	
42~47	700	1,500	1.050	6	23.800	24.990	6.300	149.940	
48	700	1,745	1.222	1	23.800	29.084	1.222	29.084	
49~50	400	1,200	0.480	2	23.800	11.424	0.960	22.848	
合計				42			35.298	840.094	

※上記ステンレス板数量表の斜切箇所における面積および重量は、長辺の長さを使用して算出。

【 特記事項 】

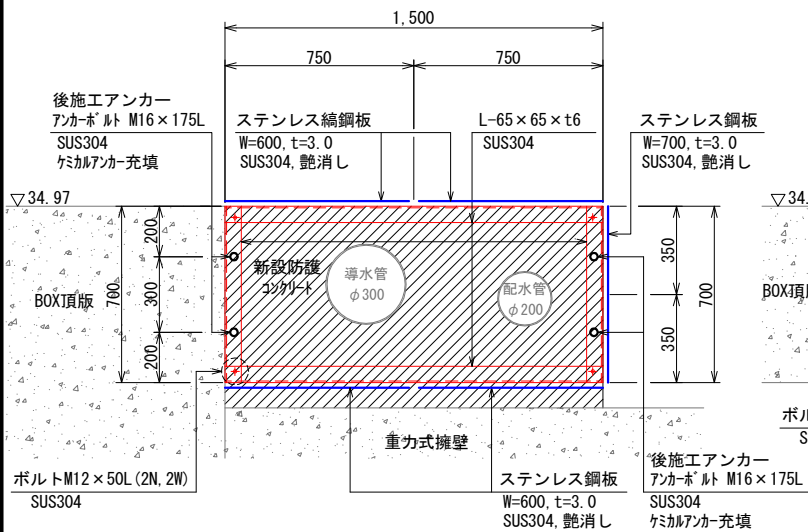
- (1) ステンレス鋼板・ステンレス縞鋼板については、製作前に必ず現地で寸法等を確認し、
現地との整合を図ってから製作すること。

設 計 図			
工 事 名	はしもと橋添架管防護工事		
図 面 名	防護材構造図(3)		
作成年月日	令和 6 年 10 月		
縮 尺	S=1:50	図面番号	5 / 11
会 社 名			
事業者名	春日那珂川水道企業団 施設課		

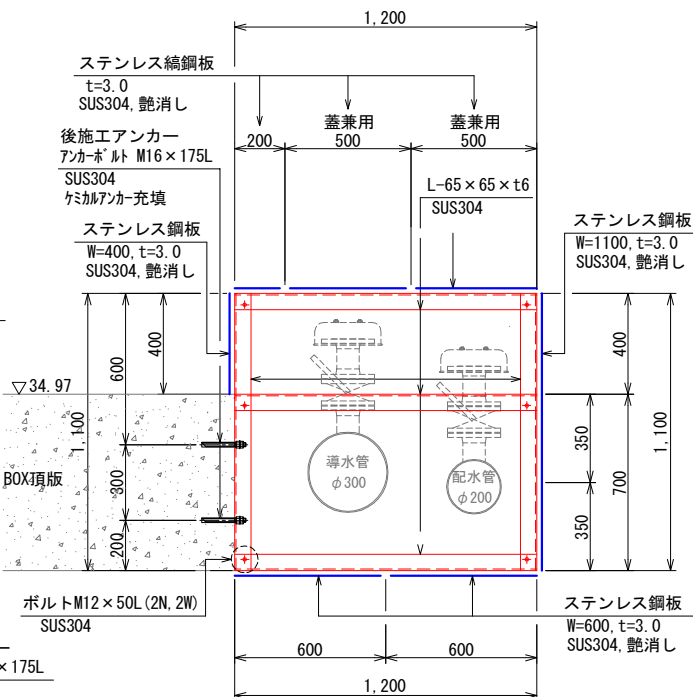
防護材構造図(4)

詳細断面図 S=1:30

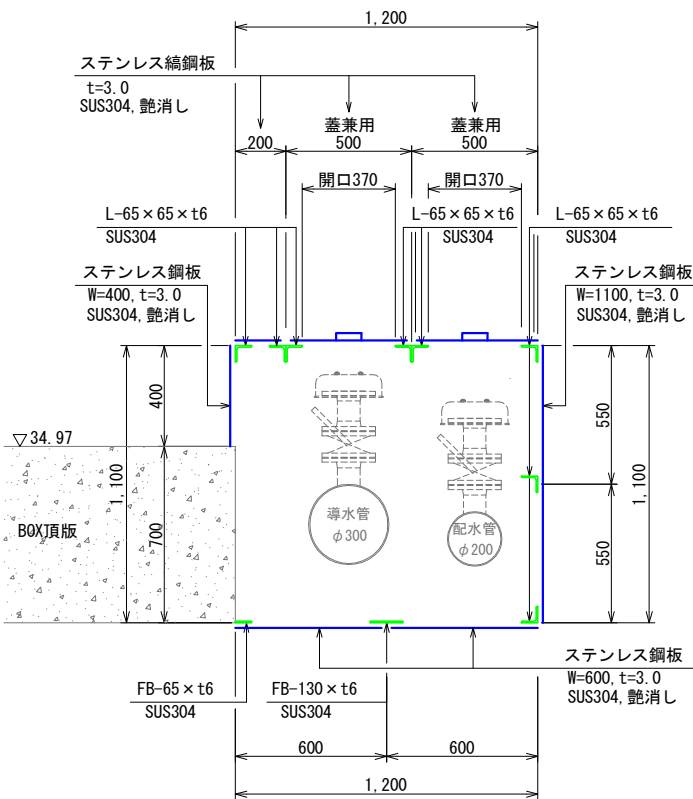
C - C 断面



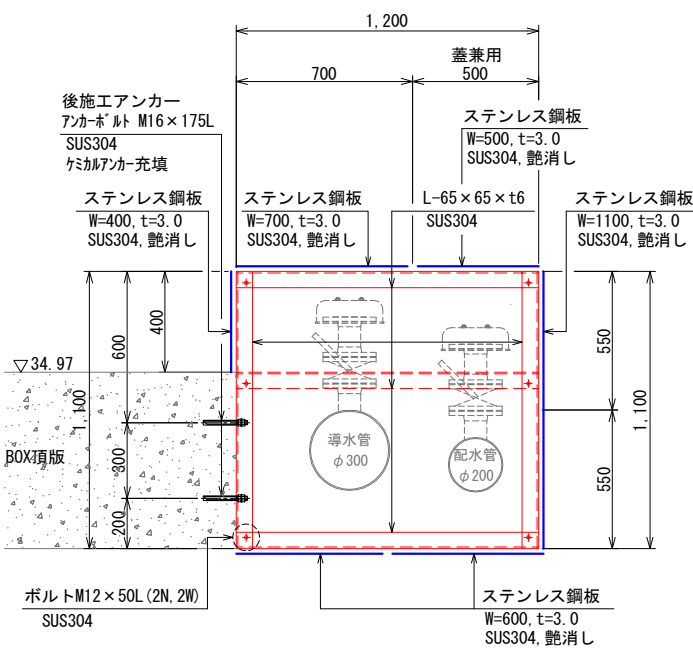
D - D 断面



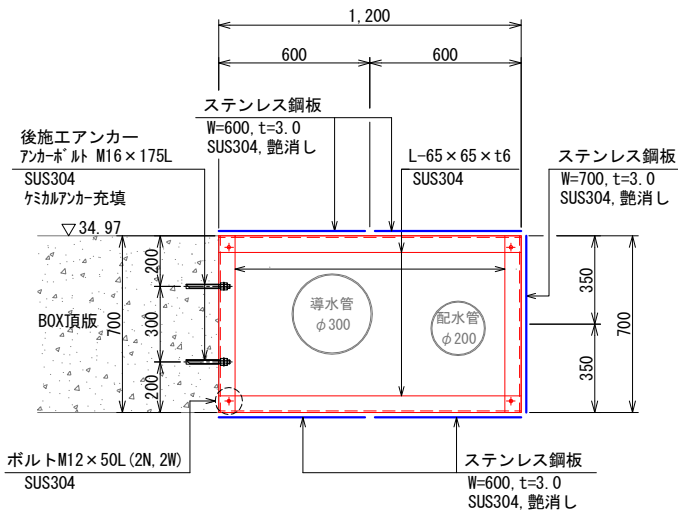
E - E 断面



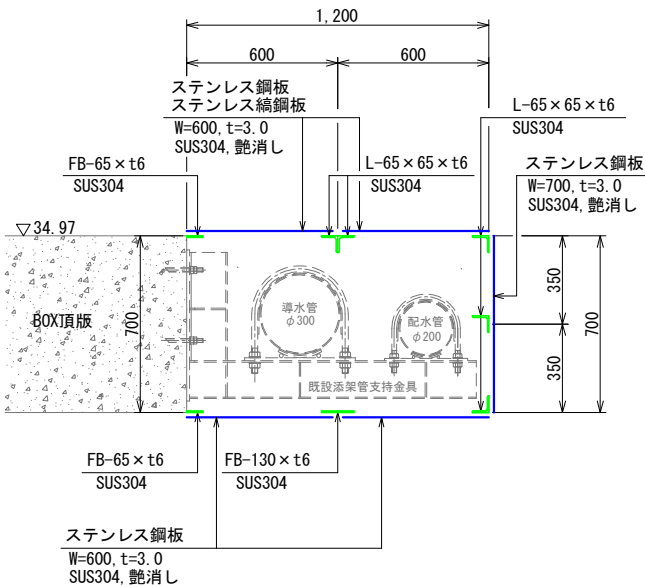
F - F 断面



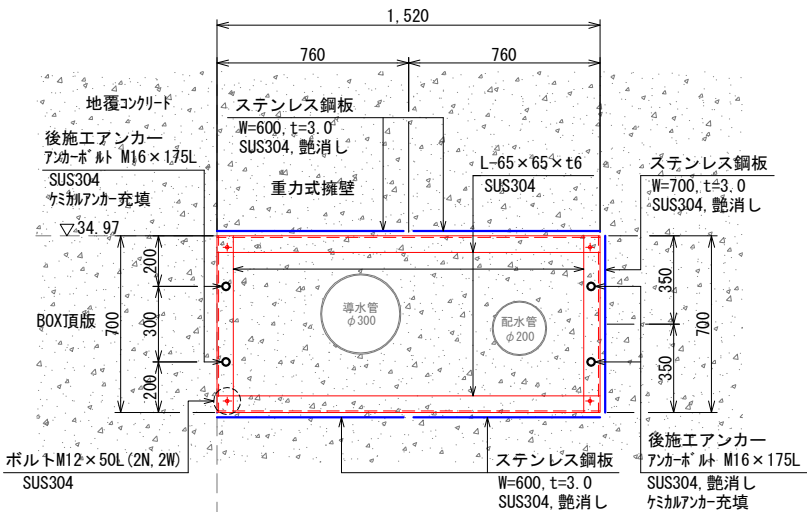
G - G 断面



H - H 断面



I - I 断面



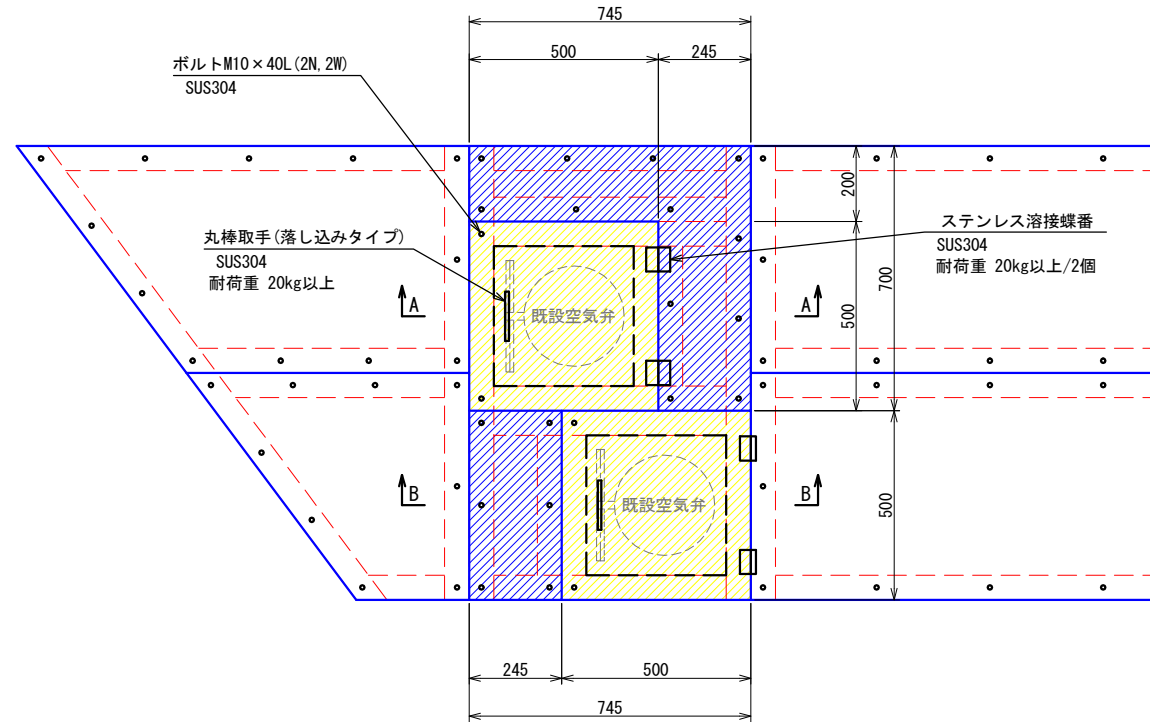
設計図

工事名	はしもと橋添架管防護工事		
図面名	防護材構造図(4)		
作成年月日	令和6年10月		
縮尺	S=1:30	図面番号	6/11
会社名			
事業者名	春日那珂川水道企業団 施設課		

防護材構造図(5)

空気弁管理蓋部 詳細図

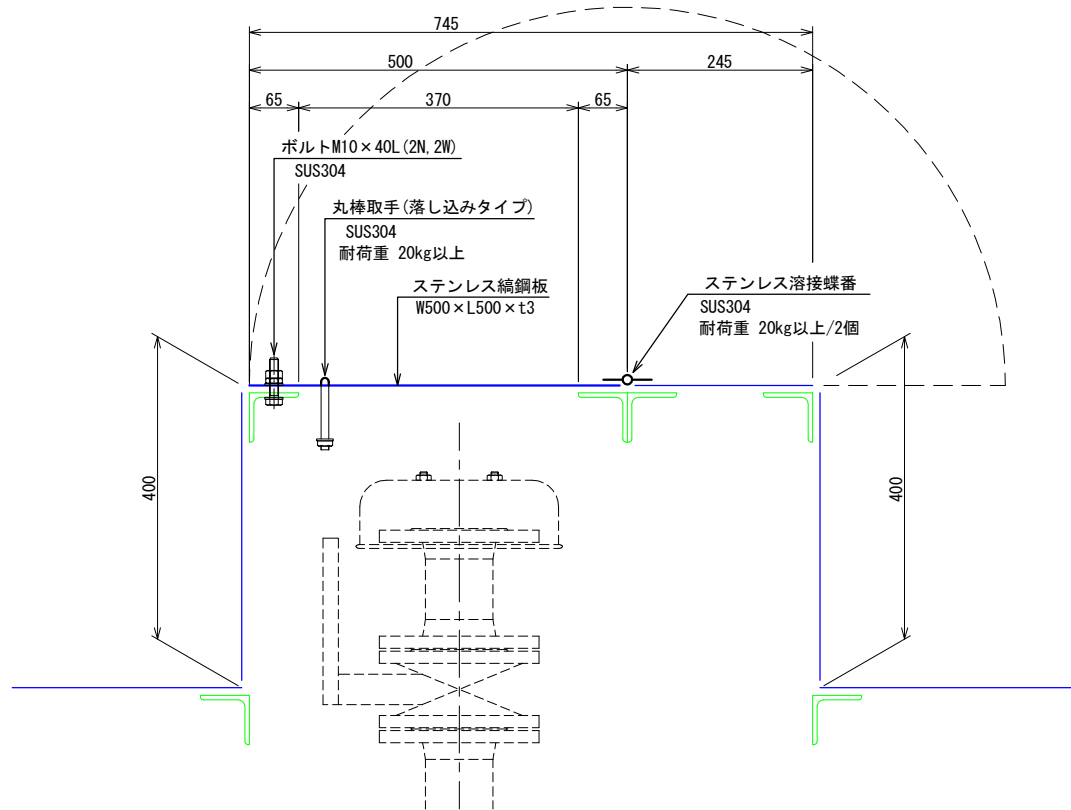
平面図 S=1:20



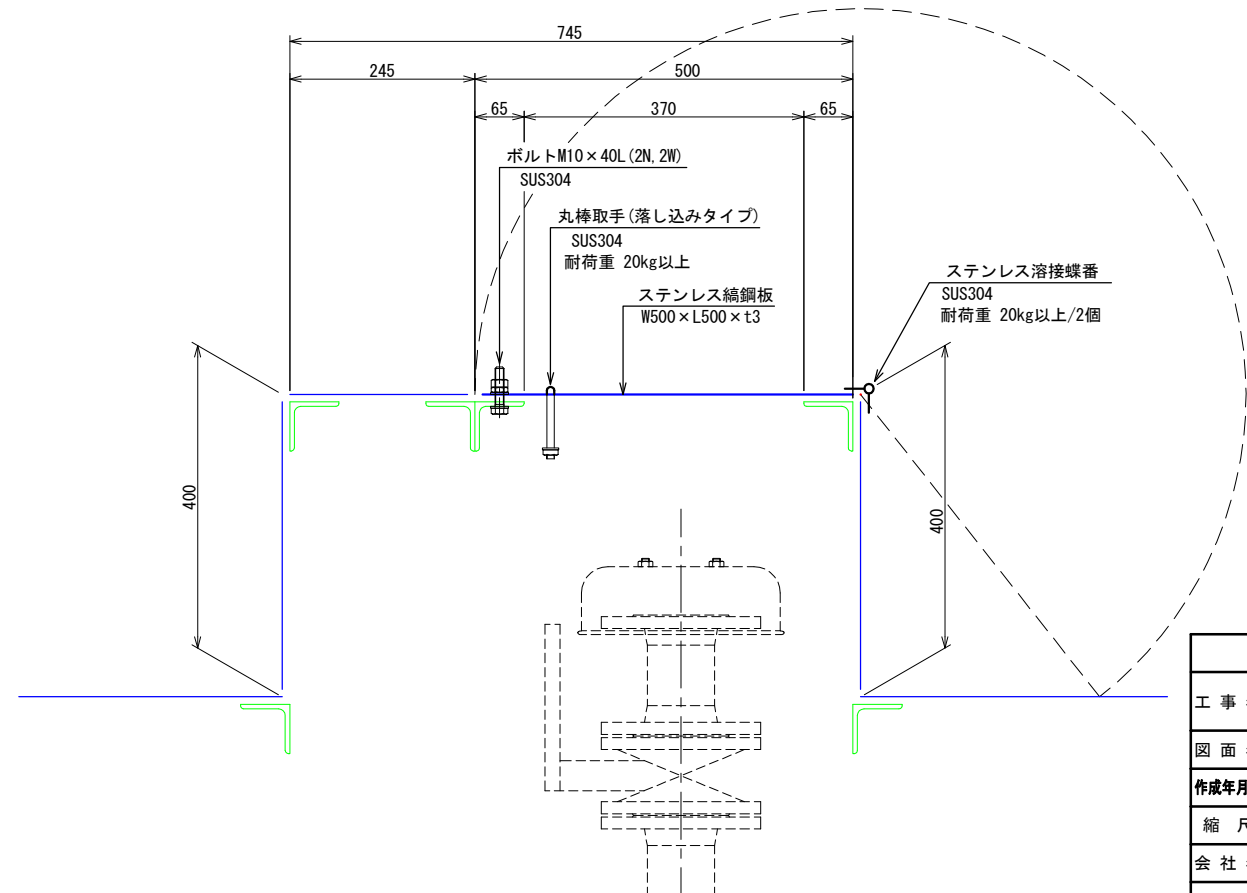
【特記事項】

- (1) 空気弁管理蓋として兼用するステンレス鋼板と架構部材(L-65×65×t6)とのボルト固定は、蓋の開閉を考慮し取手側の両端2箇所のみ設置すること。
- (2) 空気弁管理蓋として兼用するステンレス鋼板の設置位置は、開口部(□370×370)の範囲内に空気弁が収まるようにすること。

A - A 断面 S=1:10



B - B 断面 S=1:10

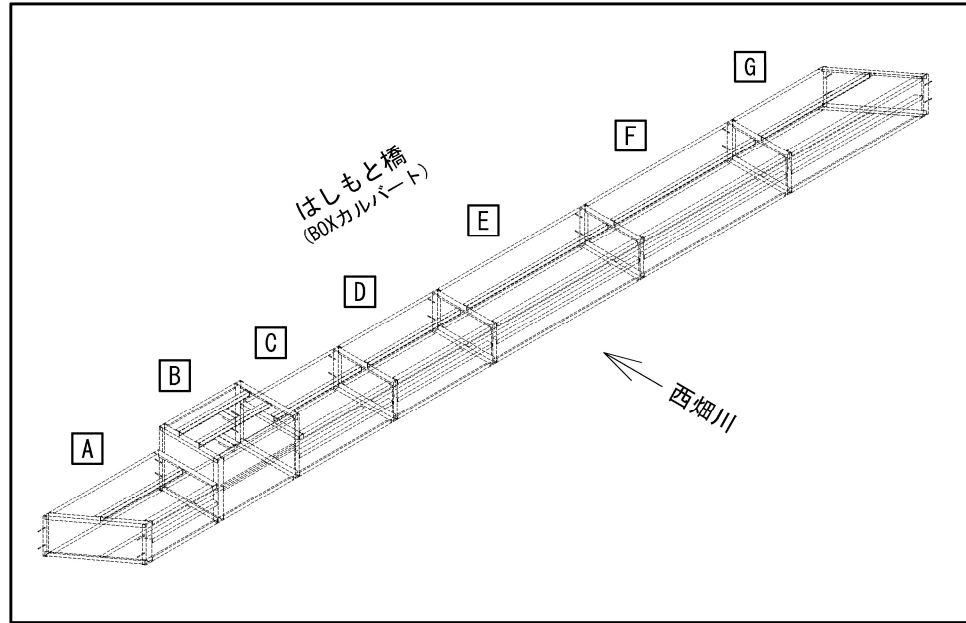


設計図

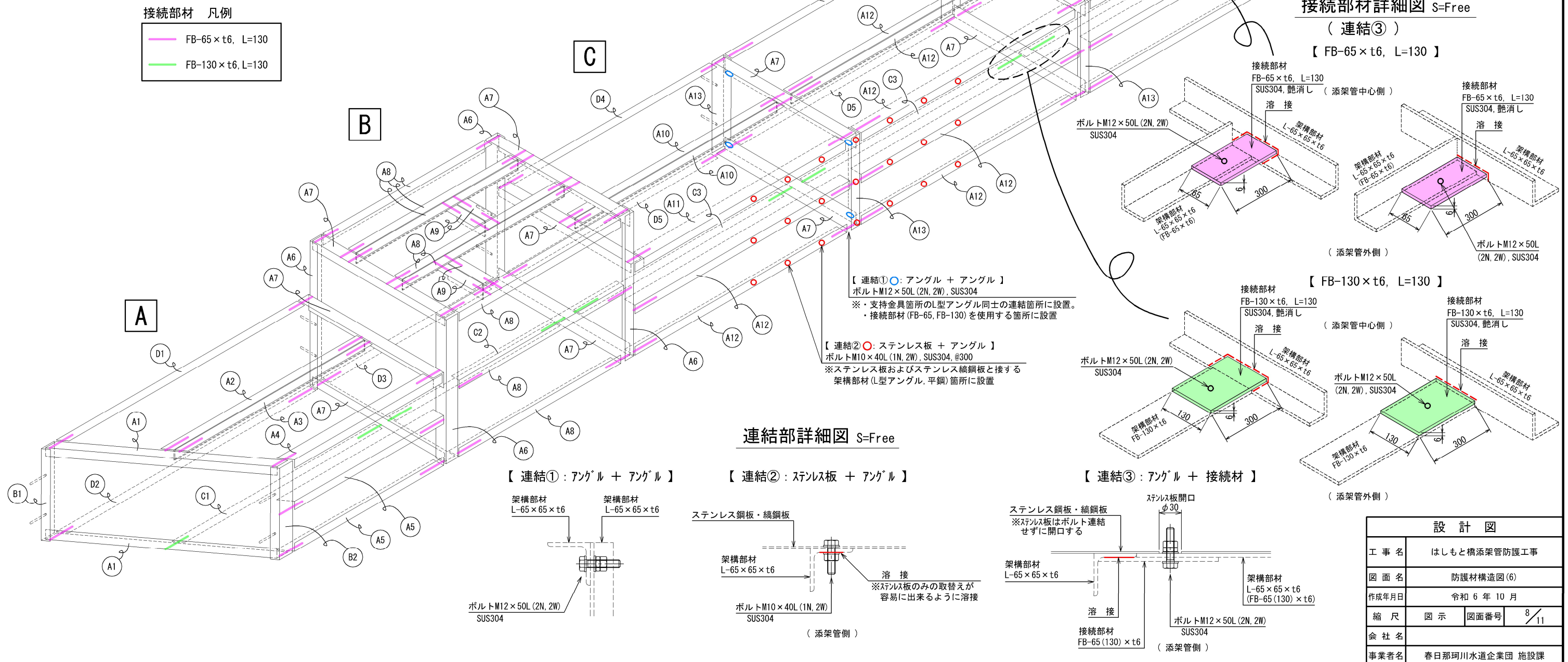
工事名	はしもと橋添架管防護工事		
図面名	防護材構造図(5)		
作成年月日	令和6年10月		
縮尺	図示	図面番号	7/11
会社名			
事業者名	春日那珂川水道企業団 施設課		

防護材構造図(6)

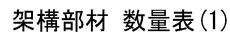
位置図



架構配置図(1) S=Free






架構配置図(2) S=Free



※上記アングル、平鋼の斜切・一部短切箇所における部材重量は、長辺の長さを使用して算出。

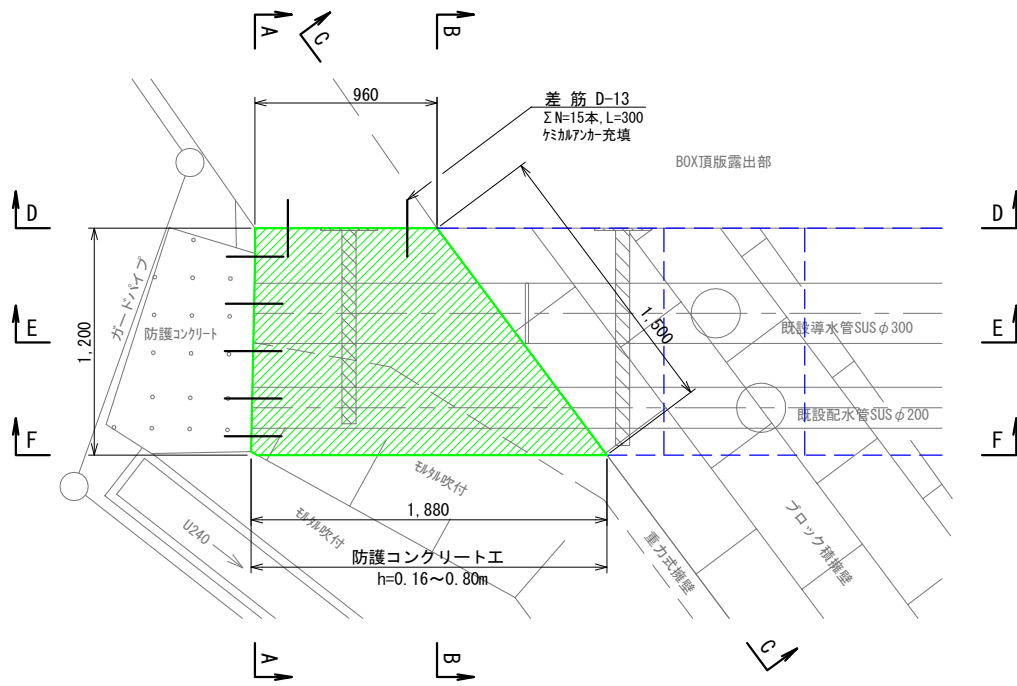
(1) 架構部材(アングル等)については、製作前に必ず現地で寸法等を確認し、現地との整合を図ってから製作すること。

記 号	長 さ (mm)	本 数	単位重量 (kg/m)	1本当り重量 (kg)	重 量 (kg)	断面形状	備 考
【 角度付アングル 65×65×t6 (SUS304) 】							
B 1	700	1	5.970	4.179	4.179		
B 2	700	1	5.970	4.179	4.179		
B 3	700	1	5.970	4.179	4.179		
合 計					12.537 (kg)		
【 FB-130×t6 (SUS304) 】							
C 1	長辺 716 短辺 618	1	6.200	4.439	4.439	—	斜切
C 2	615	1	6.200	3.813	3.813	—	
C 3	1,435	2	6.200	8.897	17.794	—	
C 4	2,935	2	6.200	18.197	36.394	—	
C 5	長辺 1,243 短辺 1,141	1	6.200	7.707	7.707	—	斜切
接続部材	130	14	6.200	0.806	11.284	—	
合 計					81.431 (kg)		
【 FB-65×t6 (SUS304) 】							
D 1	長辺 1,051 短辺 1,002	1	3.100	3.258	3.258	—	斜切
D 2	長辺 1,116 短辺 1,067	1	3.100	3.460	3.460	—	斜切
D 3	615	1	3.100	1.907	1.907	—	
D 4	1,370	1	3.100	4.247	4.247	—	
D 5	1,435	3	3.100	4.449	13.347	—	
D 6	2,935	4	3.100	9.099	36.396	—	
D 7	長辺 774 短辺 723	2	3.100	2.399	4.798	—	斜切
D 8	700	1	3.100	2.170	2.170	—	
接続部材	130	110	3.100	0.403	44.330	—	
合 計					113.913 (kg)		
ボルトM12×50L(2N, 2W)					160 (組)	連結① N=36, 連結③ N=124	
ボルトM10×40L(1N, 2W)					616 (組)	連結② N=616	
後施工アンカー(アンカーボルト, 圧入型アンカー等含む)					20 (箇所)		
溶 接					744 (箇所)	連結② N=616 連結③ N=124 ステンレス溶接継番 N=4	

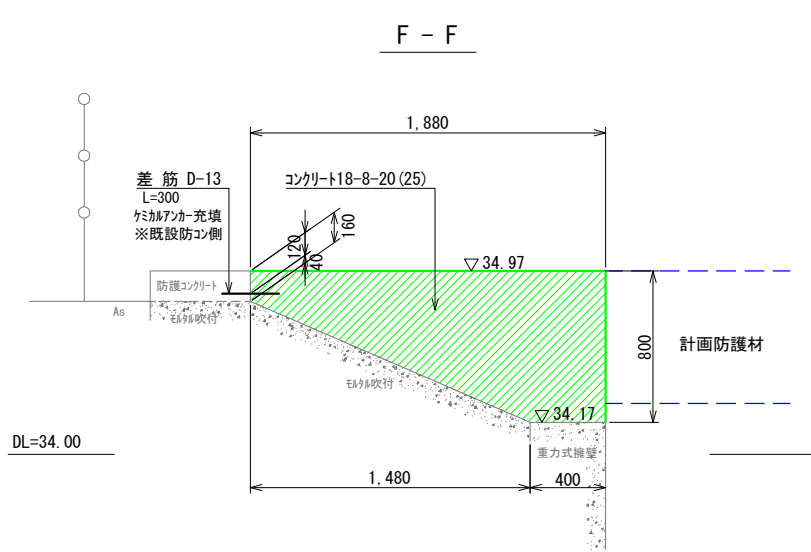
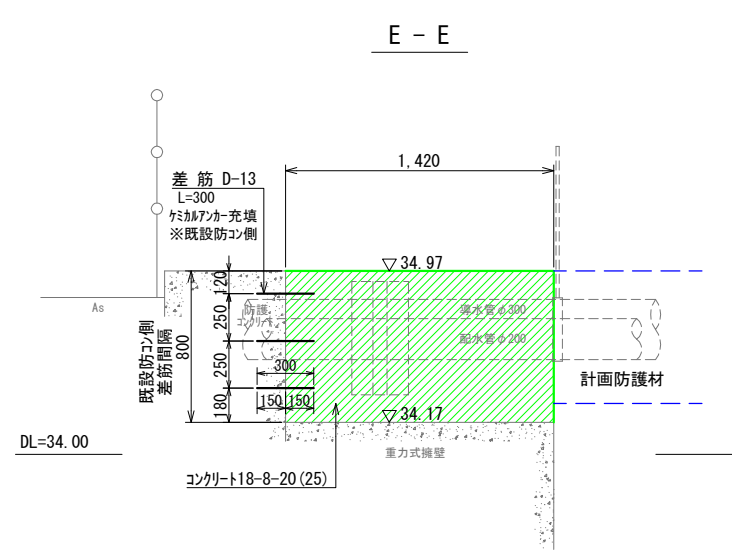
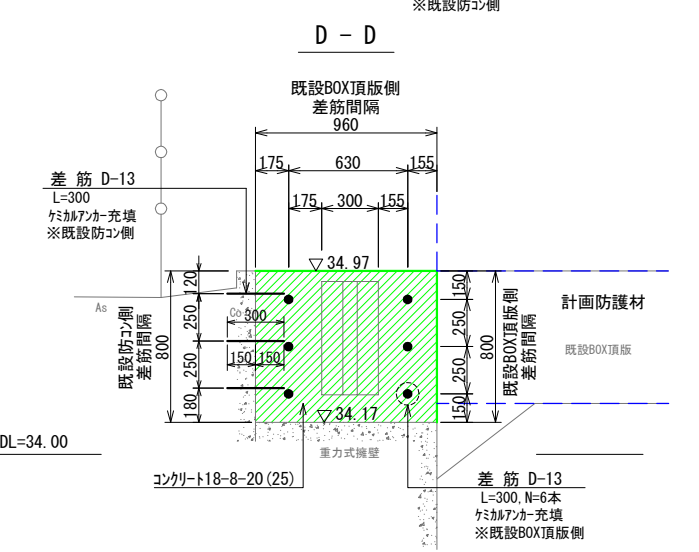
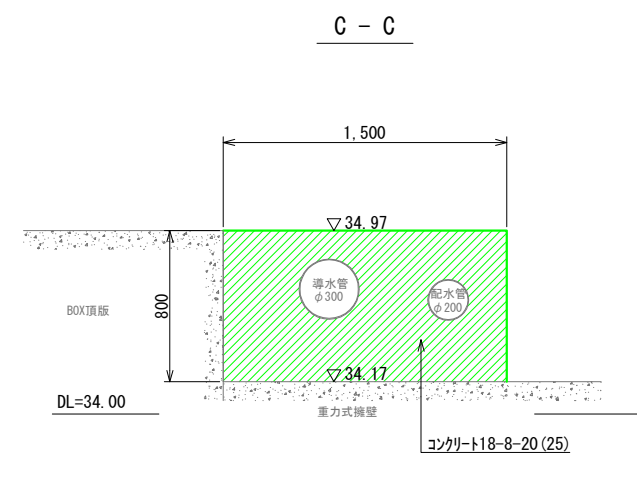
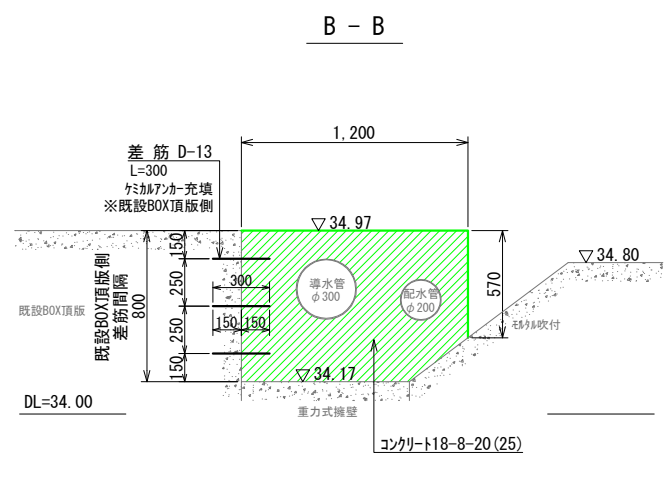
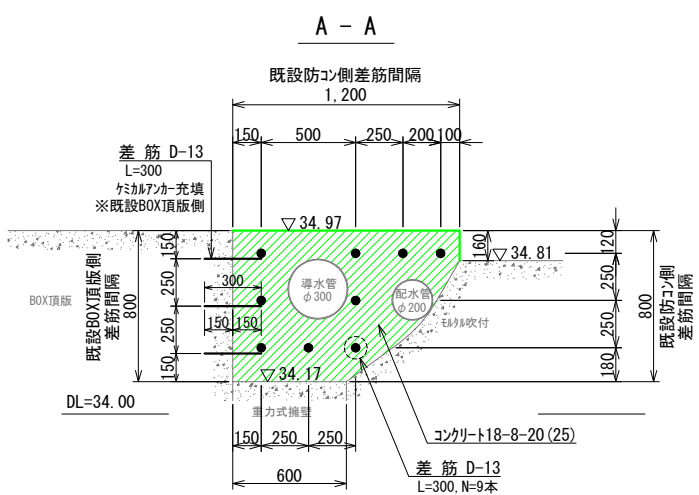
工 事 名	はしもと橋添架管防護工事		
図 面 名	防護材構造図(7)		
作成年月日	令和 6 年 10 月		
縮 尺	図 示	図面番号	9 / 11
会 社 名			
事業者名	春日那珂川水道企業団 施設課		

防護コンクリート工構造図 S=1:40

平面図



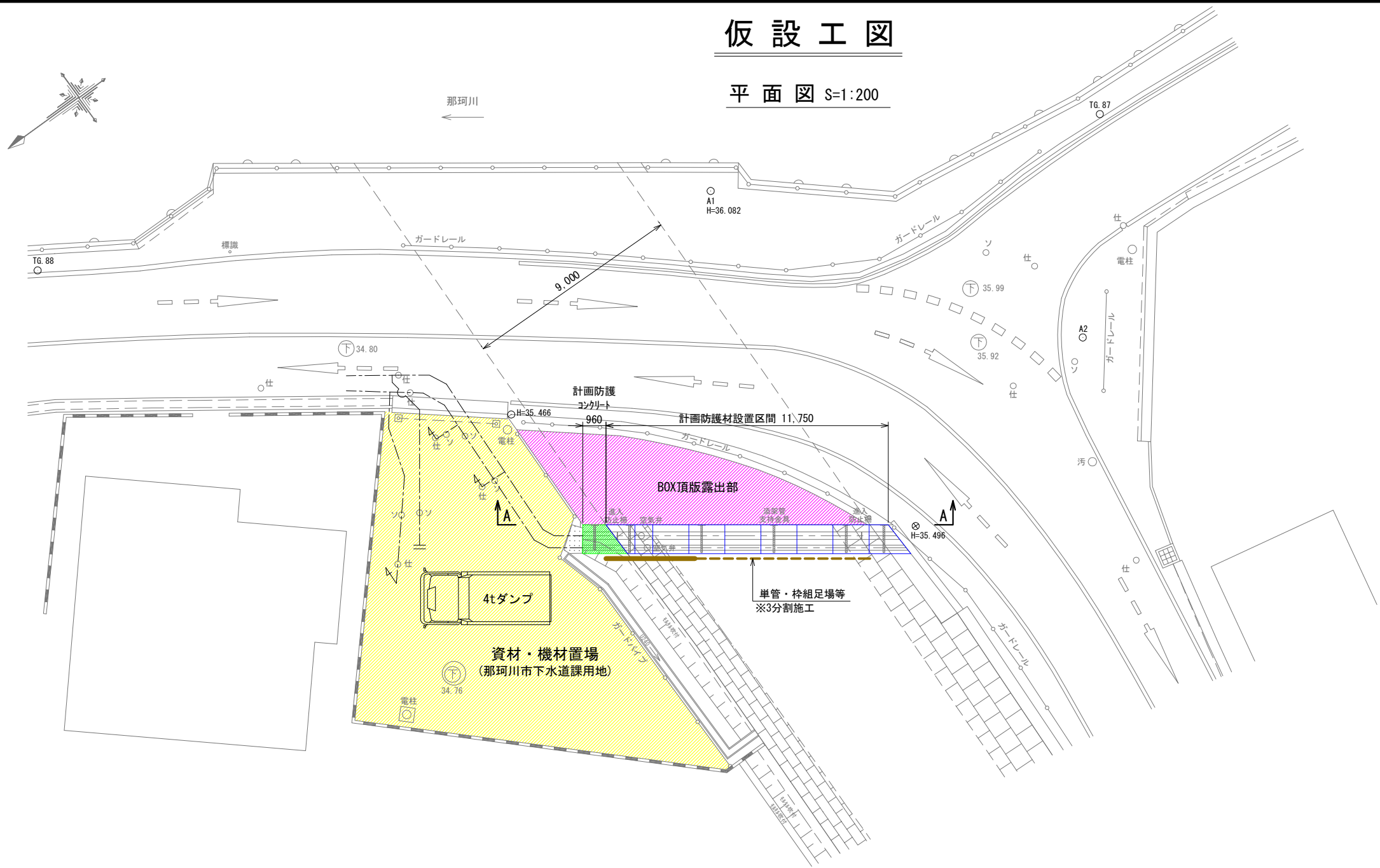
断面図



設計図	
工事名	はしもと橋添架管防護工事
図面名	防護コンクリート工構造図
作成年月日	令和6年10月
縮尺	S=1:40 図面番号 10/11
会社名	
事業者名	春日那珂川水道企業団 施設課

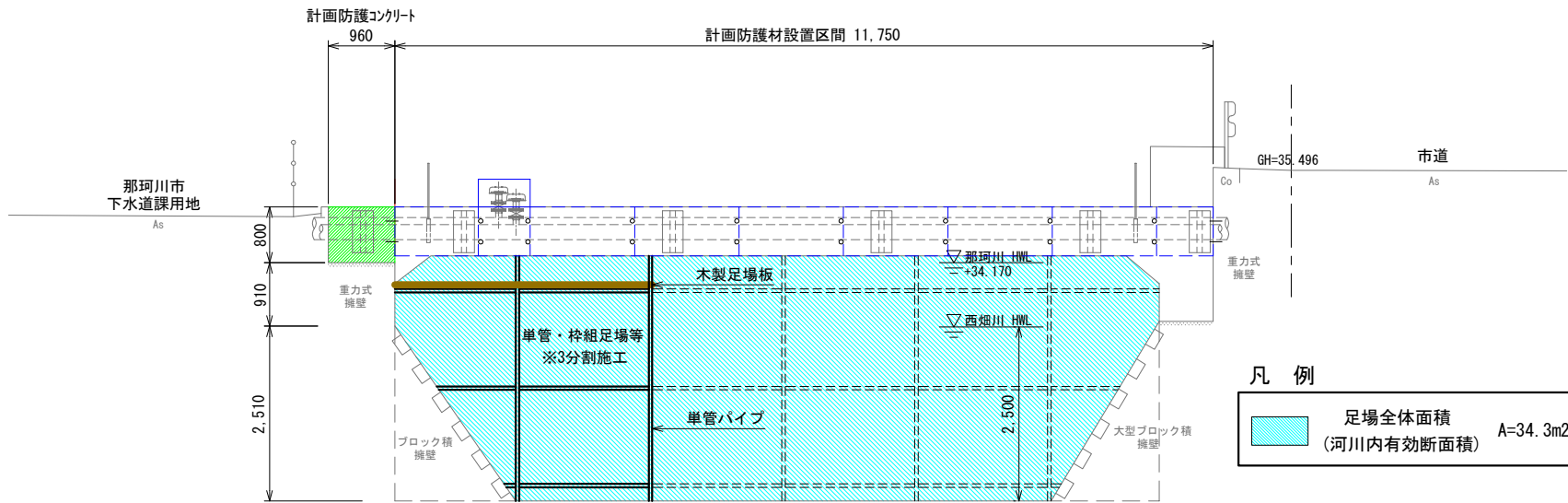
仮設工図

平面図 S=1:200



側面図 S=1:100

(A-A断面図)



凡例

足場全体面積 (河川内有効断面積) A=34.3m²

【特記事項】

- 防護材の据付施工は、河川内に単管足場または枠組足場等を設置し、人力での施工とすること。
- 足場については、河川の流水阻害等を勘案し、以下の事項に留意して施工を行うものとする。
 - 降雨が予想される日は作業を避け、河川の水位が低い晴天時に施工を行うこと。
 - 施工中に降雨が発生した場合は、直ちに足場を撤去し、施工を中断すること。
 - 施工時間帯以外は、河川内に足場がない状態にするため、作業当日に毎回足場を設置し、作業終了時には足場を撤去すること。
 - 河川全幅の2/3程度は常に足場がない状態を保持するため、足場の設置範囲は、河川全幅の1/3程度とし、3分割に区分して施工を行うこと。

設計図	
工事名	はしもと橋添架管防護工事
図面名	仮設工図
作成年月日	令和6年10月
縮尺	図示 図面番号 11/11
会社名	
事業者名	春日那珂川水道企業団 施設課